

瑞穂市で活躍する女性に聞く「男女共同参画」

市では、『「おもいやり」「ささえあい」から始まる瑞穂の夢のまちづくり』をスローガンに、男女がお互いを尊重し、性別に関わりなく個性と能力を活かして充実した生き方ができる社会づくりを目指しています。

今回は、瑞穂市教育委員 加木屋加緒里さんにお話を伺いました。

テーマ 感謝の気持ちも忘れずに

瑞穂市教育委員 **かぎや かおり** さん

●教育委員を務めることとなったきっかけ

主人の仕事の都合で、県内を転々とする中で子育てしてきました。転入者の多いこの瑞穂市で、見知らぬ土地での子育ての経験や長年携わってきたPTA活動の経験が、よりよい教育環境づくりに少しでも役に立つのならばとの想いでお受けしました。

●心がけていること

子どもたちの健やかな成長にとって家庭教育は、重要な基礎でありながら、不安や悩みを抱える保護者は多くいます。社会が一体となって子育てを支えることが大切であり、教育は、子どもたちの可能性を広げるための重要な役割を果たしています。

教育のエキスパートのかたがたと一緒に活動し、私自身多くのことを学ばせていただきながら、自らの子育て経験や学んできたことなどの保護者の視点を大切にしつつ、より広い視野を持つことを心がけています。子どもたちが安心安全な教育環境のもと、のびのびと生きる力を培えるよう、子どもたちの表情を重視すること、また、思いやりや感謝といった「目に見えないもの」も大切にしています。瑞穂に住むあらゆる世代のかたが豊かな心を持ちつづけられるように、より良い環境づくりに努めていきたいと思っています。

●両立について

私の子育ては、主人の単身赴任もあり、家庭と仕事、地域活動などの時間調整は常に課題でした。子育てのさまざまな悩みを持ち、時には不安になり心に余裕がなくなりましたが、本当に多くの人に支えていただきました。また現在、委員として務めることができるのは、周りの人々の理解や協力があつてこそだと思っています。

今改めて思うのは、核家族が増え、地域の繋がりも希薄になりがちですが、一人ひとりが個性や能力を発揮いきいきと暮らし、家族や地域など社会全体がそれぞれの立場で協力して子どもを守り育てていくことが必要だと思います。そこには、どんな状況においても、子どもたちの心の拠り所となり、子どもたちと向き合う姿勢を忘れないで欲しいと願います。

「自分も何かで活躍してみたい」と考える女性にむけて一言！

ありのままの自分自身を認めて、半歩踏み出してみましょう。そして、感謝の気持ちも忘れずに。



瑞穂市総合教育会議のようす



●問い合わせ 総合政策課 ☎327-4128
FAX 327-4103 ✉sougou@city.mizuho.lg.jp

人の動き (9月末現在) 🏠世帯数 21,978 世帯 (前月比 5世帯減)

👤人口 55,208 人 (前月比 31人減)

😊男 27,520 人 (前月比 14人減)

😊女 27,688 人 (前月比 17人減)

広告